

集中講座のテーマは  
「未来の食卓」

「科学の未来」について、市民と学生と専門家が  
一緒になって考え、議論し、学び合う“熱い3日間”

# はこだて科学寺子屋

単位互換制度対象科目 集中講座「科学技術コミュニケーション入門」 **2単位**

## 2013年7月13日(土)・14日(日)・15日(月・祝)

10:00-18:00 函館市地域交流まちづくりセンター  
2階フリースペース(函館市末広町4-19)

成果は一般公開イベントで発表!

はこだて国際科学祭2013 プレイメント  
「2050年委員会 in ハコダテ」

2013年7月15日(月・祝) 13:00から

講師

田柳 恵美子 (公立はこだて未来大学 教授)

渡辺 保史 (東海大学国際文化学部デザイン文化学科 客員教授)

ゲスト講師

三上 直之 (北海道大学高等教育推進機構高等教育研究部 准教授)

受講料無料

要申し込み  
(定員30人程度、先着順)

学生は各大学・高専  
事務局まで!!



## プログラム

〈集中講座〉のテーマは、**未来の食卓**。

専門家のレクチャーや、グループワークを通して函館・道南の食をめぐる課題を科学の視点でとらえ、未来の食卓を提案します。



2013年7月  
13日(土)

1日目：講義とディスカッション

科学と市民をつなぐコミュニケーションのあり方、科学と地域のあり方、食の安全安心をめぐる政策形成や合意形成のあり方などについて、専門家がさまざまなレクチャーを行うとともに、参加者みんなで議論します。

14日(日)

2日目：グループワークと課題制作

函館・道南の食をめぐる課題について、地域の専門家を交えたディスカッションとプランニングを行い、グループごとに思い思いの〈2050年の食卓〉を描き出します。

15日(月・祝)

3日目：成果のまとめと公开发表会

グループワークの成果を、はこだて国際科学祭2013プレイベント「2050年委員会 in ハコダテ」で発表し参加者と共有します。またイベント参加者との議論を交え成果を深めます。

## 「2050年委員会 in ハコダテ」とは？

2050年のハコダテについてみんなで対話しながらアイデアを出す一般公開イベントです。今年は「未来の食卓」をテーマに、わたしたちに身近な「食」をめぐる科学技術の未来を楽しく考えていきます。

- トークセッション
- 寺子屋の成果発表
- ディスカッション



## キャンパス・コンソーシアム函館 単位互換制度対象科目

主管校：公立はこだて未来大学

はこだて科学寺子屋〈集中講座〉は、社会人・一般市民向けの公開講座であると同時に、キャンパス・コンソーシアム函館 単位互換制度対象科目「科学技術コミュニケーション入門」(2単位)として開講されます。単位認定には必要な条件を満たしていただく必要があります。

単位互換制度を利用した場合の申し込み締切は所属校によって異なります。

※ 詳しくは各大学・高専事務局までお問い合わせください。

## 一般の方の 問い合わせ・申し込み先

サイエンス・サポート函館事務局(担当：金森)  
〒041-8655 函館市亀田中野町116-2  
公立はこだて未来大学内

Mail [info@sciencefestival.jp](mailto:info@sciencefestival.jp)

Tel 0138-34-6527

URL <http://www.sciencefestival.jp/>